

### 配合飼料供給体制整備促進事業に関する事業評価表

配合飼料供給体制整備促進協議会名	事業実施地域（都道府県）	原料	成果目標	成果目標の達成状況					事業内容 （具体的な取組内容並びに導入施設の種類、面積、台数、構造及び能力等）	地方農政局長等の意見 （総合所見）
				目標年 （計画）	計画策定時 （基準年） 平成26年度	事業 実施年 平成27年度	目標年 平成27年度	達成率 （%）		
青森地域飼料用米生産利用推進協議会	青森県	飼料用米	① 国産飼料原料の供給・利用量（t）	1,000 (t)	0 (t)	1,673 (t)	1,673 (t)	167 (%)	1. 協議会の開催 （平成28年6月11日及び平成28年11月24日の2回） 平成27年度第1回通常総会（6/11）及び平成27年度臨時総会（11/24）において、協議会構成員全員で飼料用米生産地での集荷・保管の実態把握やバラ化への課題等を整理し、飼料用米の流通コストの低減等を図った。 2. 「飼料用米に関する情勢報告と意見交換会」の開催 （平成28年2月5日の1回） 稲作農家、物流関係者、飼料製造業者、畜産生産者、研究機関、行政などが一堂に会して、飼料用米の生産（供給）と利用拡大に向けての取組みと、生産・流通・保管、加工、利用の各段階における課題について検討し、今後の方向性を探るため、「情勢報告と意見交換会」を開催した。 3. 国産飼料原料の供給・利用量の算出基礎 平成27年度飼料用米集荷実績 協議会構成員名 生産農家戸数 集荷・供給実績(t) 古川長兵衛商店 26 772 濱田米穀店 13 279 高橋米穀 17 369 長 幸 15 253 合 計 71 1,673	当協議会では、「青森地域の飼料用米の生産・利用の拡大を図ること」を成果目標として掲げ、協議会の開催及び『飼料用米に関する情勢報告と意見交換会』の開催を通じて、飼料用米の利用拡大を推進している。 当初の成果目標として掲げた【国産飼料原料の供給・利用拡大】については、協議会構成員（4社）の理解との協力のもと、平成27年度の飼料用米の供給目標1,000tに対し、実績は、1,673tで、目標を大幅に上回り目標を達成している。
			② 国産飼料原料の流通コスト（ ）							
			③ 国産飼料原料を活用した配合飼料の製造コスト（ ）							
			(参考) 導入施設の利用状況 [事業実施主体名: ]							

※ 成果目標欄の（ ）には、事業実施主体が設定した単位（円/tなど）を記載すること。  
 ※ 事業実施主体が選択していない成果目標の「成果目標の達成状況」欄には斜線を記入すること。  
 ※ 評価対象である配合飼料供給体制整備促進協議会の構成員が整備事業を実施した場合には、「（参考）導入施設の利用状況」の「成果目標の達成状況」欄に施設ごとの年間国産飼料原料処理量等について記載すること。  
 ※ 達成率欄には、「目標年度/目標」を記載すること。